

入院診療計画書②

人工肛門閉鎖術 1P目

患者ID: 患者ID
 患者氏名: 氏名

主治医氏名: 氏名
 担当看護師氏名: 担当看護婦

新規作成日: 新規作成日

日付	#####	#####	術前	術後	1/1 1日後	1/2 2日後
目標	手術について理解できる			疼痛のコントロールができています		
投薬	常用薬については看護師に 全て御報告ください。		指示があるまで内服薬は中止してください		毎食後の内服を処方します。	
注射			午前中の手術の場合は手術室で、 午後手術の場合は手術室で点滴を行います。	点滴は持続的に行われます。		
検査	入院時の身長と体重を測定します。			手術後にベッド上で胸部と 腹部のX線撮影があります。	午前中にX線撮影があります。	
処置				酸素マスク・心電図のモニターがつきます。痰が出やすいように吸入を行います。		9時から回診が始まります。 ベッドでお待ち下さい。
看護情報	入院時のオリエンテーション、 手術についての説明があります。 手術説明の日は 入院後病棟にてお知らせします。 説明の際は家族の同席をお願いします。 麻酔科医と手術室看護師の訪問があります。 分からないことがあればお聞きください。	麻酔科医と手術室の 看護師の訪問があります。 解らないことがあればお聞きください。 また、手術に必要な物品の確認を行います。	入れ歯や貴重品は外し、 貴重品はセーフティボックスに 入れるか御家族に預けてください。 手術室前までは家族も同行して頂きます。 手術中は病棟で待機してください。 病棟を離れるときは看護師に声をかけてください。	身体向きを変えたりなどは 看護師がお手伝いします。		
				お腹の動きを観察していきます。排ガスやお通じの状況をお知らせください。 ふらつきがある時には無理をして一人では歩かずに看護師を呼んでください。 また、痛みが強いときは痛み止めを使いますので看護師にお知らせください。		
活動 (安静度)				手術後は医師の指示があるまでベッド上安静となります。		痛み止めを使いながら、 看護師と一緒に身体を 少しずつ動かします。
リハビリ				医師の判断で必要であればリハビリが開始になります。		
食事	腸に残りにくい食事ができます。 病院食以外のものは 食べないようにしてください。	夕食以降絶食です。 飲水は翌朝6時まで可能です	飲水は朝6時まで可能です。		医師の許可により飲水が開始となります。	医師の許可により 飲水が開始となります。
清潔	入浴をし、体を綺麗にしましょう。 その際、臍も綺麗にします。			洗面やうがいは看護師が御手伝いします。	朝の洗面のお手伝いをさせていただきます。 午前中に身体を拭き、 着替えを看護師が御手伝いさせていただきます。	
排泄			手術30分前にはトイレを済ませておきましょう。	膀胱に管が入っています。 尿は自然に排液バッグに溜まります。	膀胱まで入っていた管を抜きます。 尿量を測るためトイレの際は 看護師と一緒にいきます。	
指導	肛門の括約筋を 締める運動を行いましょう。			痛みが強いときは臨時の 痛み止めを使用しますので、 我慢せず看護師にお知らせください。	手術の合併症予防のために、 日中のトイレや洗面などは 身体を動かしましょう。	

入院診療計画書②

人工肛門閉鎖術 2P目

患者ID: 患者ID
 患者氏名: 氏名

主治医氏名: 氏名
 担当看護師氏名: 担当看護婦

新規作成日: 新規作成日

日付	1/3 3日後	1/4 4日後	1/5 5日後	1/6 6日後	1/7 7日後
目標	創部に問題がない		日常生活の注意点について理解できる		
	疼痛のコントロールができています	食事摂取行動に関する指示を守ることができる。			
	離床ができる			排便状態に問題がない	
投薬		常用薬の再開については 医師へ確認後にお知らせします。			
注射	点滴は持続的に行われます。				
検査	午前中にX線撮影があります。		午前中にX線撮影があります。		
処置	9時から回診が始まります。 ベッドでお待ち下さい。				
	痰を出しやすくする吸入を行います。 看護師の指示に従って吸入を行ってください。 また、痰が出にくいときも行えます。				
看護情報	お腹の動きを観察していきます。 排ガスやお通じの状況をお知らせください。				
	ふらつきがある時には無理をして一人では歩かずに看護師を呼んでください。 また、痛みが強いときは痛み止めを使いますので看護師にお知らせください。		午前の回診後、退院となります。 次回外来スケジュールや診察券を看護師が渡します。 お部屋でお待ち下さい。 状態により退院日は前後することがありますので、ご了承下さい。		
活動 (安静度)	日中は病棟内を歩行するなどして体を動かしましょう。				
リハビリ	医師の判断で必要であればリハビリが開始になります。	必要に応じてリハビリを継続します。			
食事	全粥食が始まります。 病院で出されたお食事を召し上がり下さい。 それ以外の飲食をされる場合は看護師にご相談下さい。				食事制限はとくにありません。 暴飲暴食は避け、 バランスのよい食事を心がけましょう。
清潔				医師の許可を確認後、 シャワー浴が可能となります。	傷がふさがるまでは湯船には入らずシャワー浴を行います。 入浴の再開は外来で医師と相談しましょう。
排泄					
指導	飲水の方法や食事摂取についての注意点など、 看護師が説明を行います。	創の部分が赤くなったり、 腫れたりするようなら我慢せず教えてください。		食事の摂り方や排便の状況など、 何か心配なことがあれば 看護師に相談してください。	食事、安静、清潔についてパンフレットに沿って説明します。 退院後の療養生活について質問があれば御受けします。